



富津市立関豊小学校3年生から6年生までの18人の合唱による議場コンサートが、9月定例会の一般質問前に開催されました。澄みきった声で一生懸命に歌う姿は、聴く人の心を引きつけ、感動で涙する方もいらっしゃいました。



「水鏡」戸面原ダム
写真提供 小久保・平野正巳さん

富津絶景⑨

富津市内には、素晴らしい絶景スポットがあります。こっそり独り占めせず、飲びを分けてください。皆様のご応募をお待ちしております。（上記編集先まで）

9月定例会・委員会報告	2・3P
決算委員会.....	4・5P
代表質問・個人質問（7名）.....	6～9P
視察報告	10P
まちづくり交付金事業.....	11P
トピックス、定例会日程	12P

9月定例会

ごみ収集袋の処理手数料 (平成23年4月1日から)

ごみ収集袋の区分	手数料の額 (円 / 袋)	
	平成23年3月まで	平成24年4月から
可燃ごみ専用 20 リットル袋	なし	20 円
可燃ごみ専用 30 リットル袋	15 円	30 円
資源ごみ専用 30 リットル袋	15 円	15 円
不燃ごみ専用 30 リットル袋	15 円	15 円
プラスチック専用 45 リットル袋	15 円	15 円

新たに可燃ごみ専用20リットル袋を設けました。また、可燃ごみ専用30リットル袋の金額が来年4月1日から1袋15円が30円に値上がります。直接搬入についても値上がりします。

▼●ごみ収集袋の細分化と可燃ごみ専用袋が値上げになります。

◆ 条例

9月定例会は、8月31日から9月24日までの25日間で開催されました。議案18件(うち追加議案1件)、報告3件・請願3件、陳情5件(うち継続審査2件)意見案1件の主なものを報告します。

◆ 補正予算

▼●平成22年度一般会計補正予算

◎財産台帳整備事業(226万3千円)

財産台帳の整備のために補助職員2名を採用します。これは、国の進める公会計改革の環として、市所有財産について調査をし、その財産台帳を作成することで有効利用を図ります。

◎消火栓新設改良事業(202万8千円)

大佐和地区の2か所の地上式消火栓の改良を行います。

◎消防団詰所等整備事業(120万9千円)

消防団第2分団1部のホース棟の移設に伴う改修工事等

◎消防団員制服等購入事業(162万2千円)

消防団員に耐切創耐熱用手袋を整備します。

▼●富津市子ども医療費の助成に関する条例を制定しました。

小学校3年生までの子ども医療費に係る部負担金を受給券によつて助成。また、小学校4年生から6年生までの子ども医療費に係る一部負担金を償還払いによつて助成しようとするもので平成22年12月1日から施行します。



◎市立保育所運営事業(326万1千円)

佐貫保育所屋根防水改修及び峰上保育所給水槽給水ユニット修繕を行います。

◎教育費関係

竹岡小学校の耐震補強設計業務委託(111万1千円)

中央公民館暖房設備改修工事(974万2千円)

総合社会体育館ドアの補修(102万1千円)



竹岡小学校の校舎

◎「ちばエコ農産物」緊急支援対策事業補助金(68万5千円)

農業団体が米ぬかペレット成形機を導入するための助成を行います。

◎鳥獣被害防止総合対策交付金(95万5千円)

イノシシ用捕獲檻10基を導入します。

平成 22 年

請 願

●米価の大暴落に歯止めをかけるための請願

（提出者：農民運動千葉県連合会）

政府が今年度から始めた米の戸別所得補償制度の成果がまだ出ていない現状で果たして40万トンが解決策として有効かどうか判断がつかないので、**賛成少数で不採択**となりました。

●EPA・FTA推進路線の見直しを求める請願

（提出者：農民運動千葉県連合会）

国際協定関係については、メリット・デメリットの双方があり、慎重なる対応が必要であり、国の動向を注視する考えが多く、**賛成少数で不採択**となりました。

●免税軽油制度の継続を求める請願

（提出者：農民運動千葉県連合会）

本制度がなくなれば、畜産農家や野菜・園芸農家などの農業及び漁業関係者を初め多くの業種に影響があるとともに、地域産業の振興と食料自給率を向上させることから、**賛成全員で採択**となりました。



陳 情

●安心の高齢者医療制度確立のための国への意見書提出を求める陳情書

（提出者：社会保障推進千葉県協議会）

軍事費等を少しでも社会保障費に回せば国民の生活はもとより良くなるとの討論があつたが、国の中間報告の動向を注視する考えが多く、**賛成少数で不採択**となりました。

●生活保護の老齢加算の復活を国に求める陳情書

（提出者：社会保障推進千葉県協議会）

全国の裁判事例にばらつきがあり、流動的であり、国の動向を注視する考えが多く、**賛成少数で不採択**となりました。

●最低基準の改善と待機児解消・定員増実現のために公立保育所への特定財源の復活などを求める意見書の提出を求める陳情書

（提出者：千葉県保育問題協議会）

陳情先の内情をどこまで理解しての陳情なのかとの質疑があり、現段階では流動的で国の動向を注視する考えが多く、**賛成少数で不採択**となりました。

●子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書と人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情書

（提出者：日本の子供の未来を・守る会）

〈平成22年8月末にて活動休止〉

意見書

●免税軽油制度の継続を求める意見書を提出しました。

免税軽油制度は、地方税法の改正によって、このままでは平成24年3月末で廃止されることから、軽油を大量に使う畜産や野菜・園芸農家などの農業及び漁業関係者をはじめ多くの業種への影響は深刻である。

特に、地域産業の振興と食料自給率を向上させる観点からも有効であり、その継続が強く望まれている。

このことから、富津市議会では、請願の願意を受け、国が免税軽油制度を継続するよう要望する意見書を衆参議院議長、内閣総理大臣、経済産業・農林水産・財務大臣あてに提出しました。

人事案件

●富津市監査委員

項目	氏 名	住 所	任 期
新任	高橋謙治	金谷	平成22年9月25日から平成24年4月24日まで

決算を審査しました

平成 21 年度

決算書、成果説明書、監査報告書をもとに、議会中に設置された決算審査特別委員会(11人)において、平成21年度決算の審査を行いました。富津市では一般会計のほか、4つの特別会計と2つの企業会計の計7会計があります。

議会では、監査委員が行う数字や関係書類等の吟味・精査(監査報告書として提出)とは異なり、予算が適正に効率的に執行されたかどうか、それによってどのような行政効果が発揮されたか、それをうけて、今後の行財政運営においてどのような改善工夫がなされるべきであるかについて、さまざまな角度から検証すること、事業の評価と次年度予算などへの反映を目的に決算審査を行います。

審査の結果、7会計全てが認定されました。審査のなかで質問のあった項目のうち、主なものをここで紹介します。

決算審査委員会		特別委員	
委員長	石井 藤川	委員長	志郎 正美
委員	平野 井庄	委員	明彦 一郎
委員	永澤 田本	委員	春江 朗
委員	岩大 野裕	委員	二江 勇
委員	松原 久間	委員	和務 三
委員	佐久 渡	委員	敬
委員	十川		

歳入のいよ

●コンビニ収納について

19104件、3億7772万円の納付、納期前納付が増えています。
コンビニ収納委託料 188万円
※平成21年度から市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税がコンビニエンスストアから納付できるようになりました。

●滞納処分・差押えについて

差押えのうち換価については、178人、250件、1840万円です。
667人、3524件の財産調査を行いました。

市役所のいよ

●電子調達システムについて

今年6月から工事関係を電子入札で行っています。
また、平成23年度から測量業務を電子入札で行う予定です。物品関係については従来どおりです。

●住民基本台帳カードについて

住民基本カードの不正利用が県内で11件あり、富津市では、ありませんでした。対策として、運転免許証識別装置を導入し、対応しています。

●住民基本台帳ネットワークシステム委託料

メーカーのサービス期間が終了し、増額となりました。

●庁舎の清掃管理について

契約内容や条件などの行政と業者との関わり方について質疑がなされ、業者には最低賃金を守るように指導しています。

市民福祉のいよ

●施設入所者措置事業について

天羽養護老人ホームなどに居宅での生活が困難な高齢者52人が入所しています。天羽養護老人ホームは、君津郡市広域市町村圏事務組合で管理していますが、平成23年度から(社)あたご会が指定管理者となります。



富津市竹岡にある君津郡市広域市町村圏事務組合が現在管理している天羽養護老人ホーム

●住宅資金利子補給事業について

当初目標25件に対して、48件の利子補給を行いました。

●市営住宅について

修繕及び解体等については、住宅の耐用年数と合せて検討していきます。
12団地195戸中159戸に入居し、空室36戸のうち22戸の解体を予定しています。

産業振興のいよ

●二枚貝増産体制促進事業について

あさりの海グモ対策として、あさりとあわせてハマグリを放流し、資源の確保をしています。

国民健康保険のこと

医療費の増加要因について

被保険者の高齢化や医療の高度化などにより、医療給付費が増加しています。

平成18年 37億円
平成19年 41億円
平成20年 41億円
平成21年 42億円

10月17日に行われたメタボ撃退！IN
市役所周辺 吉野の桜並木・田園ウォーキング



メタボ予防

教育のこと

地上デジタルテレビ対策事業について

地上デジタル対応アンテナ工事を全学校で行い、電子黒板・52型・26型テレビを全校に整備しました。

文化財の保管について

飯野コミュニティセンター、飯野小空き教室などで保管しており、現在、庁舎での展示を検討しています。

飯野陣屋・樹木の伐採について

飯野陣屋は、文化財として価値の高いものだが、生活者の環境と折り合いをつけながら整備していきます。

介護保険のこと

特定高齢者把握事業について

特定高齢者把握事業は、要介護・要支援状態ではないが、そのおそれがある特定高齢者を把握するために日常生活の状況に関する「基本チェックリスト」を用いて確認する事業です。

平成20年度の未回答者と平成21年度の新規対象者に行いました。

待機者問題について

現在、在宅112名、施設125名、合計237名の待機者がいます。第5次計画（H24年）で実情を反映させていくため、今年度アンケート調査を行います。

紙おむつ支給について

入札による一括購入による一律的な支給では、利用者の細かいニーズに対応しきれていない。今後利用者の意見を聞き検討したい。

上水道のこと

地域水道ビジョン計画について

基本方針等を水道部で作成し、平成23年度から計画を実施する予定です。

給水単価(円/㎡)について

富津市の利用している水源は、君津広域水道企業団水、小久保ダム水、地下水とあります。その給水単価は、企業団水333円、小久保ダム水293円、地下水175円です。

有収率向上対策について

今年度から調査機器を導入し、漏水調査を行い有収率の向上に努めます。

※有収率・・・給水する水量と料金として収入のあった水量との比率です。

▼各会計決算額

会 計 名		当初予算額	決 算 額		
			歳 入	歳 出	差引額
一 般 会 計		150億3,000万円	161億1,533万円	159億704万円	2億829万円
特 別 会 計	国民健康保険事業特別会計	68億5,187万円	68億694万円	65億3,004万円	2億7,690万円
	老人医療特別会計	4,637万円	2,696万円	2,455万円	241万円
	後期高齢者医療特別会計	4億1,550万円	4億416万円	4億344万円	72万円
	介護保険事業特別会計	32億8,680万円	33億143万円	32億3,967万円	6,176万円
	小 計	106億54万円	105億3,949万円	101億9,770万円	34,179万円
水 道 事 業 会 計		収益的収支	14億6,823万円	14億6,617万円	206万円
		資本的収支	3億3,827万円	6億7,031万円	▲3億3,204万円
温 泉 供 給 事 業 特 別 会 計		収益的収支	118万円	175万円	▲57万円
		資本的収支	0円	0円	0円

*会派の代表として行う質問が代表質問になります。
代表質問の時間内(質疑応答で90分・150分)であれば、同じ会派の人が関連質問をすることができます。

代表質問

富津の現状と

課題について

賢政会



石井 志郎
議員

問 第2次基本計画の実施状況と課題は。

市長 基本計画に搭載した事業の内、未着手と一部実施された事業があり、遅れの原因等は事業実施に必要な財源の確保が困難であったこと等による。最大の課題は人口目標が未達成のことと考える。

問 次期基本計画の市長の考えは。

市長 人口減少対策を主眼に、安全・安心・子育てしやすいまち、人のつながりが広がるまちづくりを重点的に取組む課題として計画。

問 富津市残土条例制定について現在の進捗状況は。

市長 条例の強化に向け県と協議しながら、関係する条例等の整合性を図っている。主な内容は県条例の面積3000㎡以上の適用の除外を受け、500㎡以上すべてを対象に市条例の適用、事前協議制、近隣土地所有者や周辺住民の承諾、地元区に対しても説明会の開催や環境保全に関する協定の締結を求める事や他条件も調整中である。

問 人口減少の反省点と次期計画での定住化策の考えは。

企財部長 企業の進出は進んだが定住化が図られていない。今の新築住宅の利子補給制度は全員が対

象ではないので、今の制度に代えて、新築された方々が全員対象になるような補助制度を検討している。

問 次期計画での子育て支援策などの考えは。

健福部長 重点目標に掲げた経済的支援、子育て支援機能の充実、親子のコミュニケーションの充実の3つを重点的に行い、それを取り巻く子育て支援センター、学童保育クラブ、子ども医療費の充実等、具体的な案を考えている。

問 消防庁舎移転、複合施設は。

企財部長 消防庁舎は安全・安心の面から最優先と考えて、前期23から25年までの中で計画として掲載、複合施設は前期の後半か、後期の方に入れるのか検討中である。



本庁舎から見た消防防災センターと複合施設の整備予定地

行政の無駄の排除と

資源の有効活用について

賢政会



渡辺 務
議員

問 行財政改革についての基本的な考え方を伺う。その目的とするところはどのようなものか。

市長 財政改革とは、財政面での経費節減と効率性とともに、行政サービスの質を向上させることを目的としている。

問 市の所有する建物(固定資産)については、公会計制度自体の問題として単式簿記・現金主義をとっているためのストック情報の欠如に問題があると認識している。

例えば、大貫にある旧社会体育館の現況はどうなっているか。

教育部長 旧社会体育館は平成20年に老朽化と安全性の問題から廃止され、現在は市の普通財産となっている。危険防止のため侵入防護柵や立ち入り禁止の看板を設置しており、今後は早急に建物を取り壊し、跡地については有効利用していきたいと考えている。

問 この建物の解体費用は基金などで積み立てられているのか。

教育部長 基金等の準備はされていない。

問 市の事業を運営するにあたって、事業費だけではなく、固定費、例えば人件費や建物の減価償却費などのトータルのコストを長期の

スパンで把握できているか。また、単年度ベースではない費用の予測をどのように行っているのか。

企財部長 一般企業と違い地方公共団体はコスト計算をしていない。市民サービスの向上を図るためには、コスト以外の考えも必要。

問 コスト意識だけでは市民へのサービスは成り立たないことには同意する。その中で将来的な費用を見越して計画を立てるために、公会計の改革の一環としての財務4表の作成への取り組みを伺う。

企財部長 現在、資産評価のための予算を計上して、正確な市所有資産の調査に取りかかっている。その後、時価評価方式を基に財務4表の作成に取りかかりたい。



立ち入り禁止となっている旧社会体育館

*会派の代表として行う質問が代表質問になります。
代表質問の時間内(質疑応答で90分・150分)であれば、同じ会派の人が関連質問をすることができます。



代表質問

定住人口の維持・増加 策と雇用の創出について

志新会



岩本 朗
議員

問 企業立地について、今後の見通しは。

市長 現在、進出企業は富津地区工業用地内48社、内陸部に1社の計49社となっている。今後の展望ですが、残り約20haとなり、引き続き千葉県企業庁と連携を図り優良な企業の誘致を推進したいと考えている。

問 企業進出が進んでいる中、定住人口がなぜ増加しないのか。

企財部長 リサイクル企業の場合は従業員数が少ないということがひとつの理由、そして、荏原製作所の場合は、羽田からの通勤者が多いことが定住人口が増加しない要因ではないかと考えている。

問 地元雇用者が少ない原因は。

企財部長 進出企業は工業系であり、君津地域には高等専門学校はあるが、工業学校がないので、企業の募集する社員形態が市では少ないと考えている。

問 定住人口を増加させる為の次の施策について。

企財部長 短期的な特効薬はないと思うが、バス通勤されている方が今後、二戸建てでの定住をしていただけのことを長期的に見ながら、10年とか15年のスパンで考えていきたい



ハローワークによる職業相談を毎月1回市役所で行っています

いと考えている。

問 進出企業が地元の方を雇用した場合の奨励について。

企財部長 誘致の奨励金と違った形での奨励金になると思います。市にとつては新しいことですので、前向きに検討させていただきます。

問 一日ハローワークの利用者数について。

経環部長 ハローワークの利用者数は把握していませんが、一日に4、5件で、人数は4、5人の方が利用しているようです。その中で、ハローワークが持つてきたものを見て、それで就職した事例もあることを聞いている。

問 柔軟かつ総合的な子育て支援、保育サービスの充実、児童の健全育成について、今後の展開は。

市長 次世代育成支援行動計画の後期に基づき、各種施策を実施する。また、医療費の助成や子ども

手当の支給など、子育て家庭への経済的な支援を図るとともに、放課後児童対策及び地域子育て支援事業を充実し、児童の健全育成を図る。

問 子ども医療費助成については小学校6年生までですが、近隣市の状況は。

健福部長 近隣市の状況としては木更津市、袖ヶ浦市、君津市の3市について、中学3年生まで拡大することを伺っている。

問 富津市が中学3年生まで拡大した場合の費用について。

健福部長 中学3年生まで拡大した場合の医療費の見直しは、約1700万円である。

問 当地域においては特に小児科、産婦人科の診療科が不足していると考えますが、今後の取組みについて。

市長 休日における市民医療の確保を図るため、医師会の協力のもと、かかりつけ医による休日当番医制度や夜間救病診療所による第1次救急医療体制、病院群輪番制による第2次救急医療体制、君津地域医療圏の中核となる君津中央



第3次救急医療体制による高度医療の充実に努める中央病院

病院救急救命センターにおける第3次救急医療体制による高度医療の充実に努め、安心な医療体制を引き続き推進する。

問 君津地域保健医療協議会の取り組みは。

健福部長 重層的な医療体制で安心・安全を何とか維持しようということで、君津中央病院における医師の確保を行うとともに、今度人工透析の関係もできるようになりました。そういう中で医師の確保、看護師の確保、また協力病院の確保等で、医師会とは色々と協議を重ねている。

地域格差について

問 3月の議会から、3回連続で同一質問します。なぜ、これまで格差がついたのか市長に総括的に伺う。また、4点伺う。1点目は、市に快速電車の増便を、2点目は、中央インターの前夜を含めたすべての道路網の整備運動を進めるべき、3点目は、浅間山の跡地利用は、県を交えて6社との協議をすべき、4点目は、天羽地区の医療施設が整っていない。また、市で整備の約束をした上水道も、未整備地区が相当残っているから整備すべき。
市長 昭和46年、合併当時の都市計画の土地利用計画が旧町ごとに違っていたことやこれまでの間の社会的な変化が大きな要因である。具体的な手法の1点目は、快速の増便やホームへの屋根設置などをJR千葉支社に強く働きかける。2点目は、現国道の利用状況等から考えると難しいが、必要性を訴える。3点目は、過去において手塚治虫ワールド等の様々なものを検討したが、実現に至っていない。今後、様々な事業の模索を行うとともに県に対して要望する。4点目は、新たな診療所等の誘致は困難であるが診療の充実について



上空から見た浅間山跡地

努力する。また、給水区域外も簡易水道でなく、市の水道により整備していく考えである。
問 市全体の道路整備が遅れている。また、JRとひざ詰め談判の交渉をやるべきだが。
建設部長 インター付近の4車線化は、交通量が増加した場合は、可能ではないかと考える。
企財部長 市の財政負担も考えてJRに要望し、第3次基本計画の期間中にホームの屋根の設置を一駅でも整備する考えである。
問 国・県議員に、協力を仰ぎ、市長・副市長中心に努力してほしい。また、国・県補助金を獲得することから、市で外交員を作つたらどうか。
市長 補助金対象のプロジェクトチームや外交員についてどのようなことができるか検討する。



高梨 良勝
議員

時流を捉えた 施策の展開

問 平和市長会議の加盟自治体は、千葉県内では33市町村になっている。加盟の意思はあるか。
市長 世界平和を願う観点から、年度内に加盟したい。
問 市内の義務教育における平和教育の現状は。
教育長 平和教育は教育の究極の目標の一つであり、全教育活動を通じて展開されるべきもの。市でも国語科、社会科、あらゆる教育機会を活用し平和教育を行っている。
問 平和市長会議に加盟すると、原爆写真などを借りることができ、活用への考えはあるか。
教育長 活用できる有効な教材として、各学校が検討していくものと考えている。
問 子宮頸がんの市としての施策は。
市長 このワクチン接種は、厚労省が公費助成すると聞いているので、国の動向を注視したい。
問 過去に市内で子宮頸がんに罹患した方はいるか。
健福部長 詳細は把握していない。参考までに、平成20、21年度に、それぞれ子宮がんで亡くなった方は4名。子宮がんは、子宮頸がん



画面右端に「アナログ」と表示されているテレビは、そのままだと来年7月24日から見られない。

と子宮体部がんがあるが、ほとんどが子宮頸がんと言われている。
問 来年7月24日で現在のアナログ放送が終わり、地上デジタル放送が始まるが、市内の難視対策の現状は。
市長 天羽地区の難視地区が3月では6地区だったが、7月には11地区に拡大した。今後、難視解消のため鋸山中継局、富津中継局、上総湊中継局を設置すると聞いている。
問 地デジ化に理解の少ない年配者への対応策は。
企財部長 高齢者を対象とした説明会、また、一人暮らしの老人などで関心を持たない方には、民生委員と連絡をとり周知を図りたい。



藤川 正美
議員

魅力あるまちづくりの 試行について



佐久間 勇
議員

問 人口減少の防止策として試行したことや今後の考えは。

市長 安心して子育て出来る環境づくりの推進。都市基盤整備や雇用の創出など総合的対策が不可欠。子育て支援の充実など新たな定住奨励制度の創出を検討中。

問 市民アンケートや市民会議の結果を踏まえ、次期基本計画の方向性は見えたのか。

企財部長 減少を防ぐには子育て支援が1番重要だと認識。医療費対策も近隣3市に追いつくべく、来年度予算に練み込んでいかねばならないと考える。

問 他市では行政が婚活イベントを企画している。積極的な少子化対策を取らないか。

市民部長 現在2名の結婚相談員により1組が結婚。今後は恋人の聖地のようないい景観地を有効に活用できたらと思う。

問 交通弱者である車のない人、高齢者や障がい者などの足確保は。
企財部長 現在、既成バス路線の大半が赤字で市が補てんし維持している。広い市域の中、高齢による免許証返還も含め、地域と協働で交通網の体系を考えなければならぬ。



「試行」でもいい。市民の安心・安全をめざして、まず行動を！

問 第一次産業の農林水産業に関わる就労者減少の実態と対策は。

経環部長 いずれも高齢化や収入不安により従事者が減少。継続的に農業基盤整備や稚貝稚魚の放流をして資源確保を行っている。

問 栃木県で温泉水を使ったトラフグ養殖が行われたが、金谷の温泉水成分は使えないか。

経環部長 金谷の温泉は塩分濃度が海水の10分の1で無理。港湾内の空き施設があるので有効利用できるか検討したい。

問 市長は富津市をどういう方向にもつていこうとしているのか。

市長 市民の皆さんが安心、安全の中で生活できるような政策を進めていきたい。

路線バス通学 小学生への補助について



松原 和江
議員

問 スクールバス利用者小学生の通学距離は。

教育部長 4 km以上が13人、3 kmから4 km未満が5人、2 kmから3 km未満が1人、1 kmから2 km未満が1人。

問 スクールバスの場合、距離は関係ないのか。

教育部長 スクールバスの配車そのものは学校統廃合による。バスが通っている付近で、要望があれば学校長が許可している。

問 統廃合であれば2 km未満でもスクールバスに乗れる。もともと遠い所に学校があつて交通事故や事件が心配で路線バスや保護者で送迎している場合は、1円の補助もない。教育の場合、こういう差別があつていいのか。

教育部長 できるだけ公平にする努力はするが、現状の中では、致し方ないと理解している。

問 文部科学省は、通学路における事件、事故が発生する中、地域の実情に合わせ、路線バスの活用を含むスクールバスの活用が、登下校の安全確保のための有効な手段であることから、国内外のスクールバスの実態を調査し、今後の地方公共団体の検討の参考とするため報告書を出したが。

教育部長 受け取っている。

遠距離通学小学校の実態

小学校名	4 km以上	路線バス通学	保護者送迎
青堀小	4人		
富津小	4人	25人	
飯野小	1人		
大貫小	1人		
佐貫小	9人	18人	1人
湊小	1人		
竹岡小	2人	26人	2人
金谷小	1人		1人
環小	13人	(スクールバス)	
関豊小	2人		
計	38人	69人	4人

問 「路線バス通学に補助をしてください。遠距離通学地域にスクールバスを配車してください」と市民が508筆の署名を添えて市長に要請した。猛暑の中集めた署名の重みをどう受け止めるか。

市長 児童のために、保護者の方が必死で集めたのだと思う。いろいろなケースがあるようなので、教育委員会の中で、どういうやりかたができるのか検討していただく。予算については、教育委員会と相談することだと考えている。

問 すべてのスクールバスに市民混乗を認めてほしいが。

教育長 要望があれば検討する。

総務常任委員会視察報告

平成22年8月4日(水)～5日(木)総務常任委員会は、行政改革の取り組みについて調査するため、いち早く行政評価の手法を取り入れている福島県伊達市に視察に伺いました。



委員長 庄一郎 務謙治
副委員長 渡辺高橋 敏雄 敏夫 朗二
委員 永井 鈴木 福原 本大野
副委員 渡辺 高橋 敏雄 敏夫 朗二

●伊達市「行政評価の取り組みについて」

伊達市は、平成18年1月に隣接5町が合併し事務事業の統合が進められましたが、それまでそれぞれの町で行っていた事業内容が異なり、現状認識の違いから統合・二元化が先送りにされてきました。そこで新市総合計画策定を契機に行政評価システムを取り入れ効率的な事務事業の運営を目指すこととなりました。具体的には、総合計画の中の7つの政策、38の施策のうちの多数の事業について、2度の評価会議を開催し、その結果を行政経営会議でその評価を報告。それを元に次年度の施策の取り組み方針と優先度が決定されるシステムとなっています。

伊達市担当職員の説明の後、富津市の委員から行政評価を導入する際の職員の業務が増えることへの反発への対応や指標化の難しい事業についての対処方法などの質問がなされました。



伊達市の議場の様子

このシステムのメリットを職員に根気強く説明し、その必要性を理解してもらい、少しずつ行政評価導入への移行を進めたことや、指標化について、評価シートを画的に作らず、相互協議のなかで改定してゆく事などの工夫をしたとの説明を受けました。

富津市でも現在、第3次5カ年計画を策定中ですが、その計画の中で行政評価の手法を導入することが検討されています。

実際に導入を果たした伊達市職員の経験談は大いに参考になる情報となりました。

建設経済常任委員会視察報告

平成22年10月12日(火)～14日(木)建設経済常務委員会は、雇用促進の取り組みと、河川環境改善事業及び近代農業について、先進地の視察を行いました。主な2か所について紹介します。



委員長 鈴木 幹雄
副委員長 十川 敬三
委員 平野 良一
委員 竹内 洋
委員 平野 明彦
委員 岩崎 剛久
委員 長谷川 剛

●高梁市「野菜工場・夢ファーム有漢について」

高梁市では、旭食品株式会社と共同出資し、キユーピー株式会社から技術提供を受け、密閉された室内で三角パネルと噴霧水耕栽培を利用した完全制御型植物工場です。

サラダ菜とリーフレタスを約32日で、日産2000株の生産能力を持っています。

無農薬で低細菌なので洗わずに食べられ、腐りにくく日持ちが良く、安定生産により価格変動やロスが少ないのが特徴です。自然環境や天候に左右されないのが、今までの農業の弱点をカバーできる新しい農業のありかたであり、富津市でも参考になる視察となりました。



浸透柱が使用されている広島市の太田川

●広島市「河川底質改善・浸透柱について」

広島県を流れる太田川では、干潟の泥化が進み、河川の浄化能力の低下や、貝類などの生物生息環境の悪化などの問題があり、国土交通省太田川河川事務所と広島大学との共同で、大崎火力発電所から発生する石炭灰のリサイクル材である(Hiビーズ)を活用した河川底質改善技術の研究開発を進めています。

直経40cm深さ50cmの円柱にHiビーズを詰めた浸透柱を埋めることにより、潮汐の干満を利用して浸透柱内の水循環を生起、堆積泥内に酸素を供給させ、生物生息環境を向上させるものです。結果、干潟表層泥の含水比が低くなり、カニなどの生物も増えてきました。

平成22年度 まちづくり交付金事業 工事概要



青堀駅

踏切



市道青堀駅東口第1号線

市道二間塚汐入線

○市道二間塚汐入線

工事箇所：富津市大堀地先
 工事期間：平成22年9月10日～平成23年3月10日
 工事概要：工事延長=212m 道幅=14m～17m
 今後の工事予定：JR委託工事により、踏切の拡張
 工事を実施。なお、現在の道路
 が一時期(10日間)全面通行
 止め予定。

○市道青堀駅東口第1号線

工事箇所：富津市二間塚地先
 工事期間：平成22年9月7日～平成23年3月10日
 工事概要：工事延長=142m 道幅=16m
 今後の工事予定：歩道照明工事

市道役場五区線

○市道役場五区線

工事箇所：富津市下飯野地先
 工事期間：平成22年9月10日～平成23年3月15日
 工事概要：工事延長=650m 道幅=7.75m
 (橋梁工事を含む)



大手橋





千葉国体 開催

9月25日、天皇、皇后両陛下をお迎えして、千葉マリンスタジアムで開会式が行われました。47都道府県の選手団約22,000人が参加しました。



京都府 初優勝

9月26日から29日まで富津市民ふれあい公園臨海野球場で成年男子軟式野球の試合が行われました。この写真は、埼玉県と対戦した京都府のチームで、千葉県チームとともに同率1位でした。



協力・連携

9月1日、防災の日に第31回9都県市合同防災訓練が小糸川漁港隣接地を主会場に行われました。防災関係機関の連携・協力体制の充実・強化と住民一人ひとりの防災行動力の向上を目指して、合同防災訓練を実施しています。



避難する住民

9月19日、富津市総合防災訓練が富津中学校を会場に行われました。飯野地区からの避難訓練の様式ですが、貴重な体験となりました。



秋の風物詩の陸上採苗による海苔の種付け作業。長さ約18mの綱を巻き付けた直径2mの水車に海苔を付着させています。



さあ みんなで 準備運動

10月11日、「ふれあいスポーツフェスタ2010」が市民ふれあい公園などで行われました。澄み切った青空のもとたくさんの市民がスポーツイベントを楽しみました。

地方公共団体の各年度の決算は、一般的に家計簿と同じように一年間にどのような収入があり、何にいくら支出したのかなどの現金の動きを整理し、いわゆる、現金主義に立った決算状況として公表しています。現金の動きだけでなく、地方公共団体における土地・建物などの資産がどの程度あり、それらの資産を取得するにあたって発行した地方債など、決算審査特別委員会で三日間かけて審査を行いました。各事業の効果を検討し、次年度の施策に反映させる為の重要な審査を行い、その結果を市民の皆様が理解し易い内容になることを心掛けています。

(岩本)

【編集後記】

12月の議場コンサートは、7日の午前9時からを予定しています。
*日程は変更になることがありますので議会事務局(80-13331)へお問い合わせください。

12月1日(水) 10時	開会
12月7日(火) 9時30分	議案の上程
8日(水) 9時30分	一般質問
9日(木)	予備日
10日(金) 10時	議案質疑
14日(火)	常任委員会
15日(水)	常任委員会
16日(木)	委員長報告
20日(月) 10時	議案審議
	閉会

ぜひ、議会傍聴に！

12月定例会日程